

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	平成23年3月時点で、開所して一年半たったが、運営推進会議の開催がされていなかった。	運営推進会議の早期開催	介護スタッフに地域に開かれたホーム運営の為、運営推進会議を行う必要性の意義を理解いただき、4月開催に向け、スタッフとの面談交えながら、取り組んでいった。4月30日に第1回運営推進会議を開催でき、ご家族にも運営推進会議の意義を理解していただき、今後も定期開催に向け取り組んでいくことをご理解頂き、参加を呼び掛けた。	2011/4/30開催済み。継続して定期開催に取り組んでいく
2	35	防火管理者の配置・防災訓練等が、施設独自訓練が不十分であった。	防火管理者の選任・管轄消防署指揮の下、消防訓練計画を作成し、早期訓練を実施する。	防火管理責任者には施設長が就任し、4月19日に消防署立ち会いの下、通報・消火・避難訓練を実施することが出来た。また水消火器により、実際に水消火器を使った訓練を実施した。今後も年2回、定期的に消防訓練を実施していく。また、消防設備会社に委託し、消防設備点検も実施していく。	4月に消防訓練を実施した為、次回は10月に実施予定。今後も最低年2回実施していく。
3	1	会社理念に関して、職員の理解が不十分であった。	会社理念・ホームの理念の理解の下、共有した認識で、良い介護が出来るよう実施していく。	23年度から、本社主催の内部研修が充実してきた。本社員による研修プログラムもあり、本社との関わりが増え、企業理念を研修出来る環境になってきた。今後は企業理念を軸に会社一丸となって、良いホームを築いていく。	全職員すべての研修終了まで12か月に渡り順次開催
4	54	介護用のベットの常設や、クローゼット等、収納スペースの確保により、手軽に入居できるのが良い面でもあったと思うが、入居時に認知症介護の基本的な生活環境の変化による混乱を避ける為、馴染みのものを置き安心して頂くという説明が不足していた。	馴染みの物を居室に置く事で環境の変化による混乱を防ぐ。	運営推進会議やご家族が訪問した際、またはケアカンファレンスに、ご家族も参加していただき、説明し居室に出来る限り馴染みのものを置き、環境の変化による混乱を防ぐように配慮していく。	順次対応
5	52	認知症により、生け花や、飾りを置く事で、異食行為の危険に敏感になり過ぎ、全体的に殺風景な雰囲気になってしまっている。	温もりのある、家庭的なホームを作りを目指す。	現在入居している方の個々の状態を把握し、異食行為に繋がるような危険なものは避けつつ、家庭的で温もりのあるホーム内環境を、職員やご家族と話し合いながら実現していく。	3ヶ月